

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)に係る事業実施結果報告  
(交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

資料4  
令和5年度第1回逗子市まち・ひと・しごと  
創生総合戦略等推進会議  
2023年(令和5年)7月27日

① 交付対象事業 の名称	② 総合戦略における 位置付け	③ 実績額 (逗子市) 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値			⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑧ 事業実施から 得られたノウ ハウ等	
			指標	指標値	単位	目標年月	実績値 (三浦半島4市1町)	実績値 (逗子市)	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由		
三浦半島魅力 深化プロジェクト推 進事業	基本目標1「若い世代 の結婚・出産・子育て」 の希望をかなえる  基本目標2「逗子市へ の新しいひとの流れを つくる」  基本目標3「逗子市に 暮らしながら「しごと」 の希望をかなえる」  基本目標4「魅力的 で、誰もがいつまでも 安心して健康に暮らせ るまちづくりを推進す る」	9,977,148 (6,165,550)	指標①	三浦半島地域4市1 町の生産年齢の社 会増減数	-752	人	令和5年3月	-886人	18人	— 地方創生に効 果があった	総合戦略の KPI達成に有 効であった	「交流人口の増加に寄与 する取組みの充実」「地域 産業の活性化に資する事 業の推進」「魅力的な活動 あふれるまちづくりの推 進」及び「自然を生かした まちづくりの推進」に関 するKPIに直接的効果を上 げる要因となった。	事業の継続	交流人口の増加に 効果的であるため	別添のとおり
			指標②	鎌倉市を除く3市1町 の観光客消費額	29,001	百万円	令和5年3月	※未確定 (8月中旬頃把握 予定)	840百万円						
			指標③	県民ニーズ調査にお ける「現在のところに 住み続けたい」と思う 人の三浦半島地域 の割合	71	%	令和5年3月	63.3%							
			指標④	事業を通じたイベント 参加者数	154,000	人	令和5年3月	275,437人	47,766人						
			指標⑤												

■表の見方

⑤「本事業終了後における実績値」 <事業効果>選択肢

- ・地方創生に非常に効果的であった (指標が目標値を上回った場合)
- ・地方創生に相当程度効果があった (目標値を上回るとはなかったものの目標値を相当程度(7~8割)達成した場合)
- ・地方創生に効果があった (目標値を上回るとはなかったものの事業開始前よりも改善したなどの場合)
- ・地方創生に対して効果がなかった (実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合)

⑦「実績値を踏まえた事業の今後について」 <今後の方針>選択肢

- ・追加等更に発展させる (事業が効果的であったことから取組みの追加等さらに発展させる)
- ・事業内容の見直し(改善) (事業内容の見直しを行う(または、行った。))
- ・事業の継続 (特に見直しをせず事業を継続する)
- ・事業の中止 (継続的な事業実施を予定していたが中止した)
- ・予定通り事業終了 (当初予定通り事業を終了した)

■確認いただく内容

⑥「外部有識者からの評価」 <事業の評価>選択肢

- ・総合戦略のKPI達成に有効であった
- ・総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

<外部有識者からの意見>

記載内容例: 事業の良かった点が何か 等  
総合戦略において当該事業が位置付けられている具体的施策に関するKPIに直接的効果を上げる要因となったことを記載。

デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業実施結果報告 ⑧事業実施から得られたノウハウ等について

事業名	ワーケーションの推進（ワーケーション推進補助金）
担当課	企画課
実績	補助金利用によるワーケーション実施 4社 補助金利用による事業所の開設 1社
蓄積されたノウハウの内容	補助金事業の検討・策定方法
事業実施から得られたノウハウ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーケーションを実施した事業者との交流・アンケートから、ワーケーションを行っている企業の業態や、意思決定の基準、ワーケーションに求めていること等の情報が蓄積され、今後のワーケーション推進事業を行っていく上での判断材料を得ることができた。</li> <li>・事業を通じて新たな関係法人の創出を行うことができた。</li> </ul>

## デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業実施結果報告 ⑧事業実施から得られたノウハウ等について

事業名	企業誘致・起業促進事業（platform ZUSHI BIZ運営経費）
担当課	企画課
実績	第4回全体ミーティング開催 2022年8月3日 参加者：9企業、3個人、1大学等
蓄積されたノウハウの内容	・民間事業者等が参加するビジネスプラットフォームの構築、運営方法
事業実施から得られたノウハウ等	・プラットフォームを構築することにより、ビジネスという側面で逗子市に興味を持つ関係法人を新たに創出することができた。 ・運営していく中で、逗子市でビジネスを新たに創出する土壌を作るにあたっての課題を発見することができた。

デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業実施結果報告 ⑧事業実施から得られたノウハウ等について

事業名	企業誘致・起業促進事業（関係法人創出のための企業版ふるさと納税活用委託料）
担当課	企画課
実績	企業版ふるさと納税募集サイト、企業紹介を利用して受領した寄附が4件（寄附額170,000円）あった。
蓄積されたノウハウの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業版ふるさと納税を行う企業の業態、規模等の情報の蓄積</li> <li>・企業誘致にむけた、関係法人増加</li> </ul>
事業実施から得られたノウハウ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業版ふるさと納税の企業紹介等を利用することで、企業版ふるさと納税を行っている企業の業態や、規模等の情報が蓄積され、今後の寄附募集にあたり、アプローチする企業選定のための一助とすることができた。</li> <li>・企業誘致に向け、寄附を通じた関係法人の増加を図ることができた。</li> </ul>

デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業実施結果報告 ⑧事業実施から得られたノウハウ等について

事業名	女性の新しい働き方促進事業（企業連携型保育機能補助金）
担当課	企画課
実績	本補助金を利用し、1社が市内に保育的機能を有する事業所を開設した。 開設日：2023年2月2日
蓄積されたノウハウの内容	補助金事業の検討・策定方法
事業実施から得られたノウハウ等	・逗子市の課題である労働力率が低い35歳から39歳の女性（いわゆるM字カーブ）に対し「女性の新しい働き方」の実現できる就労の場を市内に新たに創出することができた。

デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業実施結果報告 ⑧事業実施から得られたノウハウ等について

事業名	逗子の魅力向上事業（フェアトレード啓発事業負担金）
担当課	市民協働課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアトレード×ローカルランチキャンペーン実施 参加店舗 21店</li> <li>・フェアトレード連続講座の実施 参加者延べ 70人（全4回、オンライン含む）</li> </ul>
蓄積されたノウハウの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民協働による企画の実施、運営方法</li> </ul>
事業実施から得られたノウハウ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランチキャンペーンの実施により、市内事業者に対しフェアトレードの取り組みの促進、店舗利用者にフェアトレードの普及啓発を行うことができた。</li> <li>・イベント実施における多様な広報方法の取得（公共施設ほか学校、フェイスブック、インスタグラム、図書館展示など）</li> <li>・オンラインでの講座実施による手法の取得</li> </ul>

## デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業実施結果報告 ⑧事業実施から得られたノウハウ等について

事業名	マリンスポーツによる地域ブランディング事業（ジュニアヨット・ウインドサーフィン教室運営補助金）
担当課	文化スポーツ課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアウインドサーフィン教室 6回実施、延べ70人参加（前年度比4人増）</li> <li>・ジュニアヨット教室 2回実施、20人参加（前年度 新型コロナウイルスの影響により中止）</li> </ul>
蓄積されたノウハウの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画の立案方法及び実施方法</li> <li>・地域団体との連携（マリンスポーツ団体、事業者等）</li> </ul>
事業実施から得られたノウハウ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民へのスポーツへの関心を高めるため、ジュニアウインドサーフィン教室を開催し、マリンスポーツの普及を図ったことにより、ジュニアを対象とした事業の実施方法についてノウハウを得られた。</li> <li>・海に面し、マリンスポーツを身近に楽しめる逗子市の魅力を発信する機会に繋がっている。</li> <li>・感染対策を講じつつ、指導の質を落とさずに安全に実施する手法を得られた。</li> </ul>

## デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業実施結果報告 ⑧事業実施から得られたノウハウ等について

事業名	企業誘致・起業促進事業（創業支援に係る専門家派遣事業）
担当課	経済観光課
実績	2022年度 Youtubeを活用したオンデマンド創業スクールを開校し、112人（男63人、女49人）の参加があった。 （逗子市商工会への補助事業）
蓄積されたノウハウの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインを活用した支援手法</li> <li>・コロナ禍により生まれた働き方の変化についての講義、支援</li> <li>・ロールモデルの蓄積及び発信を行うことでの創業機運の醸成</li> </ul>
事業実施から得られたノウハウ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症のまん延以前のスクールでは、令和元年度で58人（男25人、女33人）の参加があったが、令和3・4年度はオンデマンド受講形式としたことで、さらに参加者が増え令和4年度は112人の参加があった。時間や場所の制約に縛られないオンデマンド形式による受講により多くの受講生から好評を得られたため、一定の効果をあげることができる手法を蓄積できたと考えている。今後はそのノウハウを生かし、創業機運を高めるため身近な創業事例を先輩創業者に発表してもらい創業機運醸成事業やスクール後の情報交換会について、オンライン形式で実施し交流の機会を設けていくことについても検討している。</li> <li>・ビジネスプランの確立段階、あるいは創業直前・直後の方を対象に創業に向け様々な専門家による個別支援や商工会経営指導員等による支援に応じられるようにしている。特に、コロナ禍により企業も変革を求められ、事業継続のために企業の複業や業態の変化等が求められていることから、新たな事業転換の支援も行っている。</li> </ul>



## デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業実施結果報告 ⑧事業実施から得られたノウハウ等について

事業名	小坪海浜地域の活性化事業（小坪海浜地域活性化事業補助金）
担当課	経済観光課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刺網漁業体験（56人）</li> <li>・ カーステイ利用実績122件</li> <li>・ 船上市場・わかめ収穫祭開催</li> <li>・ 観光遊漁船クルーズ（54人）</li> <li>・ 漁業者を対象としたアンケート及びヒアリング、漁港利用事業者との意見交換会等に係る漁業協同組合活性化アドバイザーとして有識者2人を派遣依頼</li> </ul>
蓄積されたノウハウの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁港の活用や漁業と観光の組み合わせによるイベントの企画立案、実施運営</li> <li>・ 活性化に向けた課題の共通認識や活性化の方策の検討</li> </ul>
事業実施から得られたノウハウ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種イベント等の実施により、漁港の活用や漁業と観光の組み合わせによるイベントの企画立案及び実施運営に関するノウハウを蓄積することで、小坪漁業協同組合が自立した定期的な実施に向けたノウハウをさらに蓄積することができた</li> <li>・ 有識者2名による漁業者を対象としたアンケート及びヒアリングの実施、漁港利用事業者との意見交換会等に係る漁業協同組合活性化へのアドバイスにより、組合内及び漁港利用事業者との課題の共通認識や活性化の方策の検討を実施することができ、将来に向けた一定の方向性の合意形成を図ることができた。</li> </ul>

## デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業実施結果報告 ⑧事業実施から得られたノウハウ等について

事業名	逗子海岸保全活用事業（逗子海岸保全活用事業補助金）
担当課	経済観光課
実績	2022年度 ワッショイ！ずしかいがん 「水辺の安全教室」17人、「サマーフェスティバル」594人、「海で働く人々講演会」47人、「春休み海祭り」31人 NIGHT WAVE 266,000人
蓄積されたノウハウの内容	地域の団体や事業者と連携した企画立案、実施運営 新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた実施対応
事業実施から得られたノウハウ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を施した上で企画実施し、ウィズコロナ下におけるイベント開催ノウハウの蓄積につなげた。</li> <li>・ワッショイ！ずしかいがんは、子どもに海に親しむきっかけづくりとなるように海岸関係団体との連携を密に企画実施し、まちぐるみで逗子最大の魅力である逗子海岸の活用につなげることができている。</li> <li>・2022年新たに取得した海辺の国際環境認証「ブルーフラッグ」の周知をイベント開催時に合わせて行うことで、海の環境を考え、環境に配慮した行動を促すきっかけづくりにもつなげることができた。</li> <li>・「海で働く人々講演会」では「逗子の海藻と藻場」をテーマに身近な海の環境変化を知って考えるきっかけづくりを行い、漁業者や子育て団体を講師に加えることで、関係者や参加者の新たな交流が生まれ、地域課題に対しての共通認識と連携の輪を広げるきっかけとすることができた。</li> <li>・NIGHT WAVEを3年ぶりに開催し、実行委員会等関係者の連携構築につなげるとともに、日中に開催する他の市民団体やフラダンス団体のイベントと連携することで、滞在時間の延長や来場者の増加につなげることができたことは新たなノウハウの蓄積につながった。</li> </ul>

## デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業実施結果報告 ⑧事業実施から得られたノウハウ等について

事業名	逗子の魅力向上事業（逗子の魅力向上事業補助金）
担当課	経済観光課
実績	2022年度 「観光遊漁船クルーズ」54人、「小坪漁港船上市場」350人、「わかめ干し作業体験」10人、「わかめ収穫祭」400人、「歴史ウォーキング」46人、「逗子の山で遊ぼう」29人
蓄積されたノウハウの内容	地域の団体や事業者と連携した企画立案、実施運営 新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた実施対応
事業実施から得られたノウハウ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小坪漁港船上市場」では周知方法を見直し、令和3年度にリリースした逗子市観光協会ホームページ、SNS、報道機関等広報媒体を増やすとともに、周辺のマルシェ企画と同日開催の調整を行い、連携してPRすることで来場者の増加につなげることができた。さらに当日、周辺イベントや商店の回遊を促すチラシを作成して会場で配布し、多くの来場者が周辺地域をめぐるきっかけづくりができた。これらの新たな取り組みは滞在時間の延長や地域経済活性化を図る新たなノウハウの獲得となった。</li> <li>・「歴史ウォーキング」では、逗子ゆかりの人気歴史案内人をガイドに迎えたことで、新たな魅力の発掘やモデルコースの構築につなげることができた。</li> <li>・「逗子の山で遊ぼう」は市外からの親子参加者も多く、逗子海岸以外の自然の魅力を体感してもらうきっかけになるとともに、イベントを通して事業者の提供アクティビティを気軽に体験でき、新たな顧客の獲得につながるきっかけづくりともなっており、連携事業者とwin-winの関係で魅力を発信するイベント実施のノウハウを着実に蓄積することができた。</li> </ul>

## デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業実施結果報告 ⑧事業実施から得られたノウハウ等について

事業名	プラごみ排出抑制等の推進（ブルーフラッグ関連を含むプラごみ排出抑制対策支援等負担金）
担当課	経済観光課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 逗子海岸営業協同組合ホームページの全面改修</li> <li>・ 啓発ポスターの海の家での掲示</li> <li>・ 国際環境認証「ブルーフラッグ」の取組内容の周知啓発パンフレットの制作及び配付</li> </ul>
蓄積されたノウハウの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 啓発用ホームページの制作</li> <li>・ 啓発ポスターの海の家での掲示</li> <li>・ 周知啓発パンフレットの制作</li> </ul>
事業実施から得られたノウハウ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 逗子海岸営業協同組合ホームページを全面改修し、より訴求効果の高いデザインとするとともに、国際環境認証「ブルーフラッグ」の取り組みなどの内容を盛り込むことで、これまで以上の周知啓発に取り組んだ。</li> <li>・ 啓発ポスターの海の家での掲示により、来店客へ視覚的にプラスチックごみ抑制を呼び掛けることができ、来店客への意識啓発が可能となった。</li> <li>・ プラごみ排出抑制の活動及び「ブルーフラッグ」の取組内容の周知啓発パンフレットを作成し、ビーチクリーンイベント参加者や、「ブルーフラッグ」に関心のある企業に配付し、逗子海水浴場の環境への意識を高めることにつながった。</li> </ul>